

# かすみがうら

第227号  
 <毎月1日発行>  
 ■ 発行所 ■  
 霞ヶ浦医療センター  
 かすみがうら編集局  
 〒300-8585  
 土浦市下高津2-7-14  
 Tel : 029-822-5050  
 Fax : 029-824-0494  
 E-Mail & WebSite  
 201-kasumi.main@mail.hosp.go.jp  
<https://kasumigaura.hosp.go.jp/>



## コロナ禍の運動について

△循環器内科△  
 加藤 穰

新型コロナウイルス感染症の流行により、運動の機会が減少し、生活習慣病のリスクが高まっています。運動は心臓や血管を鍛え、免疫力を高める効果があります。しかし、コロナ禍では感染リスクを避けながら運動する必要があります。ウォーキングや水泳など、人と接触しにくい運動がおすすめです。また、運動する際はマスクの着用や手洗いを徹底し、人混みを避けることが大切です。

## 遺伝性乳癌の最新診療

△外科△  
 田地 佳那

遺伝性乳癌は、特定の遺伝子変異によって発症する乳癌です。家族性乳癌症候群やリンチ症候群などが代表的です。早期発見と適切な治療により、生存率が向上しています。遺伝子検査や定期的な乳房検査が重要です。また、予防的乳房切除術や乳腺切除術などの手術も選択肢の一つです。最新の診療法や治療法について、専門医と相談しましょう。

本誌では、最新の医療情報や健康に関する記事を掲載しています。遺伝性乳癌の最新診療に関する記事は、外科の田地佳那先生によるものです。また、コロナ禍の運動に関する記事は、循環器内科の加藤穰先生によるものです。読者の健康と生活の質を向上させることを目指しています。

## 発熱のある患者さんの診察について

△感染管理担当△  
 菅野 勝司

発熱は感染症の重要な症状の一つです。発熱がある場合は、適切な診察を受けることが大切です。診察時には、発熱の経過や他の症状について詳しくお話しください。また、発熱が続く場合は、入院や隔離が必要な場合があります。感染対策を徹底し、周囲への感染を防ぐことが重要です。

当院では、最新の医療設備と専門医による診療を提供しています。遺伝性乳癌の最新診療に関する記事は、外科の田地佳那先生によるものです。また、発熱のある患者さんの診察に関する記事は、感染管理担当の菅野勝司先生によるものです。読者の健康と生活の質を向上させることを目指しています。

本誌では、最新の医療情報や健康に関する記事を掲載しています。遺伝性乳癌の最新診療に関する記事は、外科の田地佳那先生によるものです。また、発熱のある患者さんの診察に関する記事は、感染管理担当の菅野勝司先生によるものです。読者の健康と生活の質を向上させることを目指しています。

